



FINAL FANTASY[®]

ファイナルファンタジー

TRADING CARD GAME

FF-TCG フロアルール ver.1.0

最終更新日 2018年 10月16日

本ルールは、ファイナルファンタジー・トレーディングカードゲーム（以下 FF-TCG）の店頭トーナメントならびに公式トーナメントにて適用されます。

1.トーナメントの基本規定

1-1.トーナメントの種別

FF-TCG のトーナメントは大きく以下の 2 つに分けられます。

店頭トーナメント

カードゲームショップなどの店頭で開催されるトーナメントであり、多くの場合プレイヤー間の交流等を目的としています。主催者はホビージャパンから公認を受けた各カードゲームショップなどです。

公式トーナメント

公式が主催する大規模のトーナメントです。

1-2.参加資格

トーナメントには原則として、誰でも出場することができます。ただし、「世界選手権」など、参加資格が存在するトーナメントはそれを持つ者しか参加できません。また、主催者から出場停止処分を受けているプレイヤーはトーナメントに出場することはできません。

1-3.グレード

トーナメントには競技性に応じて、以下のグレードが設定されます。

グレード 1

店頭トーナメントや、公式トーナメントのサブイベントなどに適用されます。ゲームを楽しくプレイし、プレイヤー間の交流を深めることが主な目的のため、様々なタイプのプレイヤーの参加が予想されます。不正行為に対しては厳しく対処する必要がありますが、故意でないミスやルールの不備に対し、厳しい罰則を与える必要はありません。

グレード 2

「地区選手権」などの大規模な公式トーナメントに適用されます。プレイヤーは総合ルールやフロアルールについて、ある程度の知識を持っているものとして扱われます。公平性の維持のために罰則が与えられることはありますが、故意でない過失に対して厳しく罰せられることはありません。

グレード3

「国別選手権」「大陸選手権」「世界選手権」など、グレード2よりも勝者に与えられる栄誉や副賞が高く設定され、最も競技性の高い公式トーナメントに適用されます。プレイヤーは総合ルール・フロアルールに対する深い理解が求められ、ジャッジの裁定もより厳格なものになります。

2.トーナメントの詳細規定

2-1.成立人数

参加者が1人でもいれば成立となります。1人の場合はその参加者が自動的に優勝者の獲得する権利を得ます。

2-2.トーナメント形式

トーナメントは原則として1本制です。

参加者が4人以下の場合は、総当たり戦を推奨します。参加者が5人以上の場合は、勝ち点が近い者同士があたるスイスドロー形式になります。

一部のトーナメントでは、スイスドロー形式で予選ラウンドを行い、その後上位のプレイヤーによる決勝ラウンドを行う場合があります。決勝ラウンドはシングルエリミネーションによって行われます。

決勝ラウンドでは2本先取制（最大3ゲーム）を行なう場合があります。

2-3.ラウンド数

スイスドローの規定ラウンド数は以下の通りです。

5～8人	: 3回戦
9人～16人	: 4回戦
17人～32人	: 5回戦
33人～64人	: 6回戦
65人～128人	: 7回戦
129人～256人	: 8回戦
257人～512人	: 9回戦

2-4.勝ち点

勝者には3点が与えられます。敗北や引き分けは0点です。

2-5.順位の決定

公式トーナメントでは、勝ち点の多い順に順位を決定します。同点の場合、オポネン

ト・マッチウィン・パーセンテージ（※）によって順位を決定します。

※計算式によって対戦相手の平均勝ち点を算出したもの

3.試合時間の規定

3-1.試合時間

1 本制の場合、1 試合 30 分で行ないます。2 本先取制の場合、最大 3 試合を合計 70 分で行います。

3-1-1.シングルエリミネーションの場合

開催されているトーナメントが 2 日間以上にわたり、シングルエリミネーションが時間的余裕をもって行われる場合、開催者判断により決勝戦を時間無制限にしても構いません。

3-2.延長

制限時間が終了したら、現在進行中のターンを 0 ターンとし、追加の 3 ターンが行われます。決着がついた時点でそのゲームは終了し、決着がつかなかった場合は「3-3.時間切れの処理」を行います。

3-3.時間切れの処理

延長の 3 ターンでも決着がつかなかった場合、その時点で対戦は終了とし、両者敗北となります。その場合、両者に与えられる勝ち点は 0 点です。

3-4.シングルエリミネーション

シングルエリミネーションにおいて、延長の 3 ターンを終えても決着がつかなかった場合は、ライフ差で勝敗を決定します。その時点でより多くダメージを与えているプレイヤーが勝利となります。ライフ差がついていない場合、さらに延長のターンを行ない、先に 1 ダメージを与えたプレイヤーの勝利とします。

この結果、2 本先取で 1 勝 1 敗になった場合 3 ゲーム目を行ないます。このゲームは先に 1 ダメージを与えたプレイヤーの勝利になります。

4.特殊なトーナメントルール

4-1.リミテッド

シールドやブースタードラフトなど、リミテッドで行われるトーナメントにおいては、特殊なルールが適用されます。

4-1-1.デッキ枚数

リミテッドにおけるデッキの枚数は 40 枚以上です。上限はありません。また、同一ナン

バーのカードの枚数上限はありません。

4-1-2.ダメージ上限の変更

リミテッドにおいては、相手に6ダメージを与えるとゲームが終了します。

4-1-3.使用するブースターパック

リミテッドに使用する未開封のブースターパックは主催者が準備し、プレイヤーに配布します。プレイヤーが持ち込んだパックやカードを使用することはできません。

4-2.チーム戦

チーム戦で行われるトーナメントでは、特殊なルールが適用されます。

4-2-1.チームの人数

チーム戦は原則として3人1チームで行われます。欠員があった場合、トーナメントに参加することはできません。

4-2-2.勝敗の決定

3人同時に対戦を行い、勝利したプレイヤーの多いチームが勝利となります。

4-2-3.デッキ構築規定

チーム戦においては、3人のカードプールを共有のものとします。同一ナンバーのカードは、チーム内で3枚までしかデッキに入れることができません。

4-2-4.チーム内の会話

チーム戦の対戦中、会話などに限らず、あらゆる手段による相談は禁止とします。また、適正なプレイ時間を守る必要があります。

5.プレイヤー

5-1.プレイヤーの義務と権利

トーナメントに出場するプレイヤーには以下の義務があります。

- ・ジャッジやトーナメントスタッフの指示に従い、円滑なトーナメント進行に協力してください。
- ・対戦相手と適切なコミュニケーションを取り、円滑なゲームの進行に協力してください。
- ・マナーを守り、他のプレイヤーや会場に迷惑をかける行為や非紳士的行為は慎んでください。
- ・デッキなど、トーナメントに必要な物品を持参する必要があります。
- ・ハンドルネーム（チーム名）での参加が認められているトーナメントにおいては、公序良俗に反する名前や他者の権利を侵害している名前の使用を禁止します。

5-2.観戦

トーナメントの参加・不参加に関わらず、来場者は対戦を観戦することが可能です。
観戦者には以下の義務があります。

- ・対戦中のプレイヤーに助言を与えることはできません。口頭での助言だけでなく、仕草や表情によってプレイヤーに情報が与えられる場合もあるので注意してください。
- ・対戦中に異常が発生した場合、すぐにジャッジを呼ぶようにしてください。その際に、進行中のゲームを止めさせることはできますが、観戦者がそれ以上の介入をすることはできません。

6.ゲームで使用するもの

6-1.デッキ

プレイヤーは、トーナメントに参加する際に自分のデッキを持参する必要があります（リミテッドの場合は、その限りではありません）。

トーナメント中はラウンドの途中でデッキを変更したり、カードを入れ替えたりすることはできません。

6-2.使用できるカード

店舗トーナメントにおいては、開催日時点で販売されているセットと、配布されているプロモーションカードのすべてが使用できます。

グレード2の公式トーナメントにおいては、開催日時点で発売から1週間が経過しているセットと、配布されているプロモーションカードのすべてが使用できます。

グレード3の公式トーナメントにおいては、発売から2週間が経過しているセットと、配布されているプロモーションカードのすべてが使用できます。

6-3.正規のカード

デッキ内のカードは、すべてFF-TCGの正規のカードである必要があります。また、正規のカードであれば使用する言語は問わず、複数の言語のカードがデッキ内に混在していても構いません。ただし、主催者により言語の制限がなされる場合があります。また、「禁止カード」「制限カード」等に指定されているカードは、そこに指定された枚数しかデッキに入れることができません。

以下のようなカードは、デッキに使用することはできません。

- ・複製品や模倣品など、正規のカードでないもの
- ・損傷が激しく、プレイに影響があるもの
- ・過剰な落書き等により、カード名やテキストの判別が困難なもの
- ・その他、主催者がゲームの進行に影響があると判断したもの

6-4.スリーブ

プレイヤーはカードの保護のためにスリーブを使用することができます。使用できるスリーブの種類に制限はありませんが、すべてのスリーブの色や絵柄・状態を統一し、すべてのカードを同じ向きで入れ、カードの区別ができない状態にする必要があります。

スリーブの状態がゲームの進行に影響があると判断できる場合や、公序良俗に反する絵柄のスリーブを使用している場合などに、主催者はプレイヤーに対しスリーブの使用の中止を命じることができます。

6-5.プレイマット

プレイヤーはカードの保護のためにプレイマットを使用することができます。

プレイマットの状態がゲームの進行に影響があると判断できる場合や、公序良俗に反する絵柄のプレイマットを使用している場合などに、主催者はプレイヤーに対しプレイマットの使用の中止を命じることができます。

6-6.マーカー

プレイヤーはゲーム内の状態変化を一時的に記録する手段として、卓上に乗せられる小さな物品（おはじきやサイコロなど）をマーカーとして使用することができますが、以下に該当するものの使用は禁止します。

- ・FF-TCG のカード
- ・貨幣や硬貨などの金銭
- ・その他、主催者が不適切と判断したもの

6-7.使用できないもの

トーナメントの進行の妨げとなるため、「6.ゲームに使用するもの」で規定されていない物品は、対戦中に使用することはできません。

7.ジャッジ

7-1.ジャッジの定義

ジャッジはトーナメントを適正に進行するために存在します。具体的には、プレイヤーからのルールに関する質問に答えたり、不適切な状態になったゲームを修正する義務があります。また、ジャッジは不適切なプレイや違反行為を行ったプレイヤーに対し、罰則を与える権利を持ちます。

7-2.ジャッジの種別

フロアジャッジ

フロアジャッジはプレイヤーに裁定を出すことができます。2 審制を用いないトーナメントの場合、フロアジャッジの裁定が最終裁定となります。

ヘッドジャッジ

ヘッドジャッジはそのトーナメントにおける裁定の最終責任者であり、2 審制を用いるトーナメントに存在します。

7-3.裁定を求める権利

トーナメントに参加するすべてのプレイヤーには、ジャッジに裁定を求める権利があります。自分に不利益が生じる等の理由で、ジャッジを呼ぶことを拒否することはできません。

7-4.ジャッジによる一次裁定

プレイヤー間でルールに関して不明な点があったり、不適切なゲームの進行をしてしまった場合は対戦を止め、その場でジャッジを呼んでください。ジャッジによる裁定を行います。

7-5.ヘッドジャッジへの上告

ジャッジの裁定に対して納得のできない場合、プレイヤーはヘッドジャッジへの上告ができます。その場合、ヘッドジャッジが再度裁定を行い、それがそのトーナメントにおける最終的な裁定となります。そのトーナメント中、これが覆ることはありません。

7-6.ジャッジングによる延長時間

ジャッジが裁定を出すまでの間に 1 分以上対戦が止まった場合、その分の延長時間が与えられます。ジャッジは裁定にかかった時間を計測し、その旨をプレイヤーに伝える必要があります。